

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



齋藤陸斗くん

(平成27年5月生まれ・中田)

これからも陸斗のパワーでみんなを笑顔にさせてね (^-^)
(母：亜貴)

久保田陽斗(左)・啓斗(右)くん

(平成27年3月生まれ
平成30年3月生まれ・常盤町)

弟が大好きな陽斗君と甘えん坊な啓斗君。すくすく元気に育ってね。
(父：央、母：真愛)

坂本騎生翔くん

(平成29年6月生まれ・久能)

甘えん坊でいたずらっ子の騎生翔くん♪とと、かかの宝物だよ♥
(父：絃平、母：弥優)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、hisho.kouhou@city.ibaraki-koga.lg.jp(秘書広報課)へ申し込みください♪



わたしの夢

海外で活躍できるサッカー選手をめざして

梁野慶さん 下大野小学校6年生

多くの将来の夢は、プロサッカー選手になることです。初めて日本代表戦の試合を見に行った時に、この大声援の中でいつか試合に出たいと思いました。正確なロングパスや強烈なロングシュート、本当にかっこよかったです。

ぼくは今、毎日サッカーの練習をがんばっています。もっともっと上手くなるために、体力を付ける、強い体作りなど、今出来る事を精一杯努力しています。プロサッカー選手になることは、すごく難しいと思いますが、いつか海外でプレーできるように頑張ります。



キラリ☆光輝く人たち

甲子園での初勝利を目指して

鶴見恵大さん(葛生・17歳)

全国高等学校野球選手権大会で2年連続甲子園に出場した鶴見さん。惜しくも甲子園での初戦突破はなりませんでした。3回目の甲子園出場と初勝利を目指し、新しいメンバーと共に頑張っています。

日々、真剣に練習に励む鶴見さんに、野球にかける情熱やこれからの目標を伺いました。



何気なく始めた野球

野球を始めたきっかけは、6歳の時に学童野球チームで野球をしていたお兄さんについて行ったことだと言います。何気なく始めた野球でしたが、だんだんとその魅力にとりつかれ、気付いたら野球中心の毎日になっていました。所属していた学童野球のチーム(ダックス)は、近隣では負けなしのチームでした。6年生の時に最高のメンバーと共に挑んだ、高円宮賜杯・第33回全日本学童軟式野球大会で3位になったことは今でも忘れられない思い出です。

リーダーの自覚を胸に

中学校入学と同時に選択したのは部活動ではなく、クラブチーム(古河シニア)で硬式野球をするということでした。鶴見さんだけがクラブチームで野球をするのを選んじましたが、そこで待っていたのは、今までは全く違う試合に勝てない日々でした。「負けることが大嫌い」と話す鶴見さんは、負けが続く

ても下を向かず、勝つために誰よりも声を出し、チームメイトを支え、チームの中心として勝利を目指し引っ張り続けました。

高いレベルで切磋琢磨

高校進学で選んだのは土浦日本大学高等学校。その理由は、下妻第二高等学校などで野球部を甲子園に2度導いた小菅監督がいたことだったそうです。

レベルの高い選手が集まる中でスタートは3軍からでしたが、試合などでの活躍がコーチの目に留まり、1軍に昇格するまでに時間はかかりませんでした。

その後、全国高等学校野球選手権大会茨城県大会で優勝、甲子園出場を果たしました。しかし、出場できた試合は県大会での1試合のみだったので、チームの役に立てなかったと自分を責めたこともありました。

チームのためにプレーを

2年生になり、1軍のレギュラーに定着した鶴見さんの前に立ち上がるのは、甲



子園出場常連校の「常総学院」「明秀日立」「霞ヶ浦」。今年の県大会では、これらの強豪校を全て下し、見事優勝を飾りました。鶴見さんも堅実な守備と勝負強い打撃でチームに貢献できたので、今回の優勝は本当にうれしかったです。

2年連続での甲子園出場を果たしましたが、今回も念願の1勝には届きませんでした。来年こそは甲子園での初勝利を挙げられるよう、秋の県大会でいい成績を取りたいと力強く話す鶴見さん。いつも支えてくれるチームメイトや両親への感謝を胸に今日も白球を追いかけます。